

令和6年度 第1回 運天港港湾脱炭素化推進協議会

日 時：令和7年 3月4日(火)

11:00～12:00

場 所：沖縄県中部合同庁舎 4階 会議室

議 事 次 第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 出席者紹介
4. 議 題
 - (1) 港湾脱炭素化促進事業及び実施主体について
 - (2) 港湾脱炭素化推進計画(素案)について
 - (3) 情報共有
 - (4) 今後のスケジュール(案)について
5. 閉 会

令和6年度 第1回 運天港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1. 日時 令和7年3月4日(火) 11:00~12:00

2. 場所 沖縄県中部合同庁舎 4階会議室 <WEB会議併用>

3. 議事概要

事務局から、港湾脱炭素化促進事業、計画(素案)、脱炭素化に関する情報共有、今後のスケジュールについて説明し、構成員から意見等の発言があった。その内容は以下のとおり。

(1) 港湾脱炭素化促進事業及び実施主体について

事務局から、港湾脱炭素化促進事業及び実施主体、港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想、実現に向けたロードマップについて説明し、記載内容について構成員の同意を得た。

[構成員から以下の意見があり、事務局が回答した。]

- ・太陽光発電の導入は比較的容易に取組可能な事業であるが、未導入となっているので取組事情について教えていただきたい。

→太陽光発電の導入状況については、運天港及びその臨港地区では未導入。

脱炭素化に向けての検討課題であると考えている。

(2) 港湾脱炭素化推進計画(素案)について

事務局から、運天港港湾脱炭素化推進計画(素案)について説明し、記載内容について構成員の同意を得た。

[構成員から以下の意見があり、事務局が回答した。]

- ・太陽光発電の導入について、初期費用を自身で負担しない PPA モデル※で導入を検討する方法もあり得る。

※Power Purchase Agreement：需要家の所有する敷地や屋根のスペースなどを PPA 事業者（発電事業者）に提供し、PPA 事業者がそのスペースに無償で太陽光発電設備を設置する仕組み。

- ・運天港では砂地となっている場所が多く、海藻や海草が育ちやすい環境であると思うので、ブルーカーボンの考え方に基づいて今後の長期的な計画として海藻や海草の生育も視野に入れるべきではないか。

→海草・藻場の活用について、連携できる機関と対応について検討していきたい。

(3) 情報共有

事務局から、次世代エネルギーに関する国内全体の方向性、次世代エネルギーのポテンシャルや具体的な需要量、補助メニューなどについて紹介した。

(4) 今後のスケジュール（案）について

事務局から、今回協議会以降の計画公表までの検討の流れ及びスケジュール（案）について説明した。

以上

(別紙)

令和6年度 第1回 運天港港湾脱炭素化推進協議会

参加者一覧 (構成員)

区分	機関・企業・団体名
民間 事業者	北部港運株式会社
フェリー 運航事業者	伊平屋村
	伊是名村
行政 機関	今帰仁村
	沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課
	沖縄総合事務局開発建設部総務運航課
	沖縄県土木建築部
有識者 (アドバイザー)	堤純一郎 琉球大学名誉教授
事務局	沖縄県土木建築部港湾課